

# 市民講演会 北陸の大地をゆるがす 地震と恐竜

平成22年9月18日(土)  
14:00~15:40

会場：富山市民プラザ  
4階アンサンブルホール  
(富山市大手町6番14号)

入場無料・申込不要 定員300名(先着順)

## 講演1

東 洋一 (福井県立恐竜博物館特別館長)  
「アジアの恐竜と日本の恐竜」

## 講演2

寒川 旭 (独立行政法人産業技術総合研究所  
関西センター招聘研究員)  
「大地に刻まれた地震痕跡」



日本地質学会 第117年学術大会 富山大会

主催：一般社団法人日本地質学会・独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター  
後援：富山県教育委員会・富山市教育委員会・NHK富山放送局・北日本新聞社

# 講演者プロフィール

## 東 洋一（福井県立恐竜博物館特別館長）



日本から恐竜が発見されて20年以上が経過しました。特に、北陸地方に分布する手取層群からは多数の恐竜の骨や足跡の化石が発見されています。これら日本の恐竜とアジア地域の恐竜との関連についてお話しします。

小学校教諭、福井県文化課などを経て1984年に福井県立博物館（現・福井県立歴史博物館）学芸員。石川県白峰村（現・白山市）での恐竜化石調査などを機に、福井県勝山市の恐竜発掘調査を指揮し、恐竜化石の研究を行う。中国、モンゴル、タイなどの海外の恐竜発掘調査にも参加。1993年に東京大博士（理学）となる。2000年の福井県立恐竜博物館開館に尽力し、2009年に同館長。2010年に同館特別館長。  
おもな著書：大恐竜時代（小学館）、よみがえる恐竜王朝（監訳、小学館）



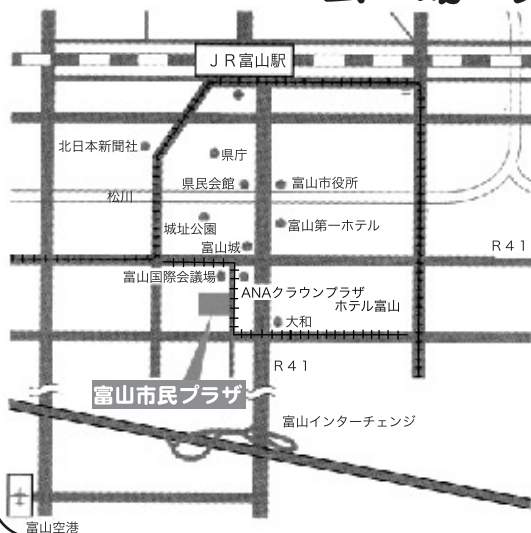
## 寒川 旭（独立行政法人産業技術総合研究所関西センター招聘研究員）



激しい揺れに襲われ続けた北陸の大地には、数多くの地震痕跡が刻まれています。地震考古学から、日本列島の激動の歴史を読み解きながら、地震を引き起こした活断層についてお話しします。

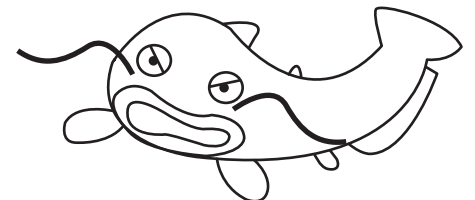
通商産業省工業技術院地質調査所、独立行政法人産業技術総合研究所を経て、2007年から同研究所招聘研究員。考古学の遺跡で過去の地震を研究する「地震考古学」を1988年に誕生させた。日本の地震を、歴史や考古学の視点を加えて読み解き、北陸地域の遺跡発掘調査にも参加して地震痕跡を調査している。  
おもな著書：地震考古学（中公新書）、地震の日本史（中公新書）、秀吉を襲った大地震（平凡社新書）

## 会場案内



富山市民プラザ  
4階アンサンブルホール  
富山市大手町6-14

「富山駅前」より市内電車  
3系統環状線にて、「大手  
モール」下車（約8分）



## お問い合わせ

富山市科学博物館 学芸課  
藤田将人  
電話 076-491-2125  
ファックス 076-421-5950